

評価対応のための IR—システム形成とその課題—

■講師



岩崎 保道
(高知大学 評価改革機構 特任教授)

同志社大学大学院総合政策科学研究科 博士(後期)課程修了。博士(政策科学)。

私立学校職員、琉球大学大学評価センター准教授を経て、2012 年度より現職。

■プログラム概要

認証評価や法人評価などの大学評価制度が導入されて平成 25 年度で 10 年目を迎え、評価制度がある程度、浸透した段階と思われる。一方、IR が大学業界で注目されており、エビテンス管理(データベース)を活用するなど「評価対応のための IR」を検討する価値は十分ある。

本プログラムでは、導入部分として、講師が大学評価及び IR の基本的な概要と両者の関係や IR の役割について説明する。そのうえで、次のグループワークを行う。受講生は、仮想の国立大学の職員として「評価対応のための IR」を構築するため、同大学における評価システムや IR に関する課題の整理や改善の方向性を提案していただく。以上を踏まえ、講師は大学評価及び IR の関係や IR の役割についてまとめる。

■主な受講対象

大学評価(認証評価及び国立大学法人評価)や IR について、初心者レベルの知識を持つ方を対象とする(入門編)。そのため、評価担当経験者以外の参加も歓迎します。

■本プログラムの到達目標

1. IR の活用状況が説明できる
2. 大学評価における IR の役割が説明できる
3. 自身が「評価対応のための IR」にどのように関わるべきか考察できるようになる

■日時・会場・受講定員

日 時 : 平成25年8月21日(水) 15:30~17:30

会 場 : 愛媛大学 城北キャンパス 愛大ミュージズ 3階 M32教室

定 員 : 15名